山梨県 Yamanashi Prefecture

Press Release

YAMANASHI

令和8年11月16日
山梨県産業政策部成長産業推進課
課長　河野　明
電話:055-223-1565（内線 4600）

報道関係者各位

山梨県×山梨大学『H2 POWER WORLD OSAKA』に出展

＼西日本最大の水素エネルギー展示会で山梨の取り組みを紹介／

山梨県（知事：長崎幸太郎）は、令和 8 年 11 月 18 日(水)～11 月 20 日(金)まで、インテックス大阪で開催される西日本最大級の水素・燃料電池の展示会「H2 POWER WORLD OSAKA」に山梨県ブースを出展いたします。

山梨県では、カーボンニュートラル実現に向け、今後成長が見込まれる水素関連産業を本県経済を牽引する基幹産業に育てていくため、産学官連携による様々な取り組みを推進しています。本年 7 月には、県独自に「水素社会実現を牽引する地域産業クラスター計画」を策定し、国の「地域未来戦略」の先行事例に選定されました。また、10 月には「富士ハイドロジェン・サミット 2026」を開催するなど、本県の取り組みは更なる発展段階を迎えています。

本展示会では、水素の拠点として水素関連分野を牽引する山梨大学及び山梨県（企業局）が、最新の取り組みを分かりやすく紹介します。

※ 展示会概要

H2 POWER WORLD OSAKA は、西日本最大級の新エネルギーの総合展示会である SMART ENERGY WEEK のうち、水素エネルギーに関するエリア。SMART ENERGY WEEK には、230 社を超える企業が出展し、会期中は約 12,000 人が来場する。

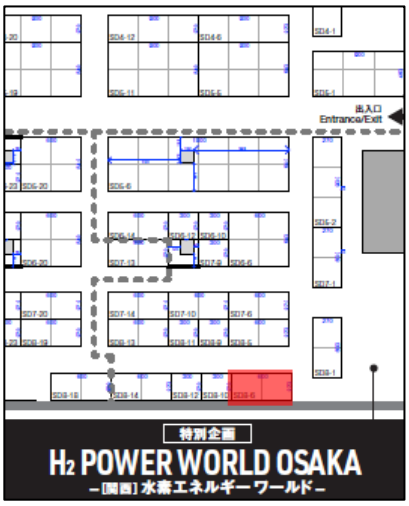
■ 会期：令和 8 年 11 月 18 日(水)～11 月 20 日(金) 10:00～17：00

■ 会場：インテックス大阪 6 号館(〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 1-5-102)

✧ 山梨県ブース（ブース番号／SD8-6）（地図赤色部分）

■ 公式サイト：https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/fck.html

■ ↓↓来場者登録はこちらから！！（入場には来場者登録が必要です）
https://www.wsew.jp/osaka/ja-jp/register.html?code=1784408062496311-LHE



【出展社プレゼンテーション】11 月 20 日(金)に、出展社プレゼンテーションに登壇します。

◇ 概　要　本年 7 月策定の「水素社会実現を牽引する地域産業クラスター計画」や 10 月開催の「富士ハイドロジェン・サミット 2026」など、山梨県の最新動向をご紹介

◇ テーマ　「山梨県が描く水素社会 ～水素社会実現を牽引する地域産業クラスターの形成～」

◇ 日　時　令和 8 年 11 月 20 日（金）　12:30～13:00

◇ 場　所　インテックス大阪　6 号館 D ゾーン　D-1（水素エネルギー活用セミナー会場）

※「水素社会実現を牽引する地域産業クラスター計画」(別紙) https://www.pref.yamanashi.jp/seichosangyo/kurasuta-keikaku.html

※「富士ハイドロジェン・サミット 2026」 https://www.fuji-hydrogen-summit2026.com/

【問い合わせ先】現地での取材を希望される場合は、事前にご連絡願います。

山梨県産業政策部成長産業推進課　TEL：055-223-1565　E-mail：seichosangyo@pref.yamanashi.lg.jp

別紙

山梨県　水素社会実現を牽引する地域産業クラスター計画の概要

1．産業領域

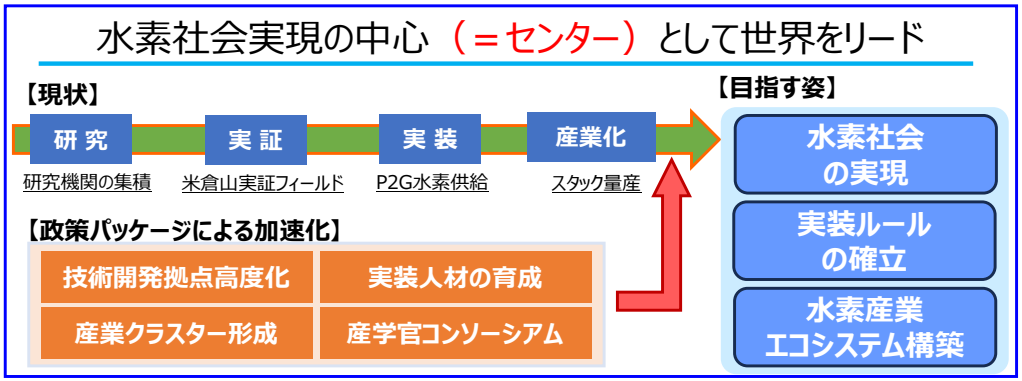
水素社会の実現に不可欠な関連産業群

電気機械器具製造業、業務用機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、金属製品製造業
汎用機械器具製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、建設業（設備工事業）等

2．対象エリア

甲府市、富士吉田市、都留市、大月市、韮崎市、南アルプス市、
北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、中央市、中巨摩郡昭和町、
南都留郡西桂町、南都留郡忍野村、南都留郡山中湖村、南都留郡
鳴沢村、南都留郡富士河口湖町

【中核拠点】
米倉山地区（甲府市）
白州地区（北杜市）
都留地区（都留市）



3．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

・全国有数の水素・燃料電池研究機関が集積
・米倉山地区で水素製造・貯蔵・利用を一体実証
・白州地区で大規模P2Gによる水素利用の社会実装
・都留地区で水電解スタック量産拠点整備が進展

（２）目指すべき姿【目標】

研究・実証から量産・社会実装までを県内で一貫して担う「水素産業クラスター」の形成

・グリーン水素サプライチェーン構築
・水電解装置の評価・標準化機能の整備
・水素キャリア研究成果の社会実装
・産業用途に対応した水素品質の高度化
・世界を牽引する専門的技術人材育成

【KGI（2036年度）】
①官民設備投資額：60億円/年（累計600億円）
②付加価値創出(水電解装置量産)：830億円増加
③水素・燃料電池人材の育成：500人養成
④県内水素消費量：1,700トン/年

4．勝ち筋

（１）基本戦略

水素実装と製造業集積の両立により、国内外の水素社会実装を支える「知と製造・技術拠点」を形成

・「製造・貯蔵・運搬・利用」をつなぐ地産地消モデルの確立
・研究開発・実証・社会実装機能の強化
・水電解スタック量産拠点を核としたサプライチェーン強化
・海外連携による技術展開と持続的な需要獲得

（２）投資の具体像

①民間投資
・都留市における水電解スタック量産拠点整備
・米倉山における実証施設整備

②公的投資・支援
・研究・実証・評価基盤整備
・社会実装拠点整備
・参入支援、人材育成の実施

（３）地域へのインパクト、目指すべき姿

・関連産業の工業品出荷額の拡大
・県内中小製造業の受注・参入機会拡大
・専門人材の育成・確保
・水素需要拡大による社会実装加速

5．政策手段

（１）投資促進に向けた課題

・量産化・事業化への移行支援不足
・実証・評価基盤の不足
・高純度水素供給体制の不足
・専門人材の不足

（２）講じるべき政策パッケージ

①米倉山における研究・実証基盤の強化
②高純度グリーン水素の製造・供給技術の確立
③量産拠点を核としたサプライチェーンの高度化
④世界を牽引する人材育成基盤の構築

（３）KPI

・マッチング支援件数
・やまなしHFCクラスター登録企業数
・受注件数
・専門・実装人材育成数
・水素利用設備導入件数